

熊教組は、7月31日に熊本県教育会館で、昨年度末から継続してきた「働きやすい職場づくりのための単教交渉のとりくみ」の結果の還流と組織の強化を目的とした単教ブロック代表者会を開いた。単教代表者・執行委員等50名の出席者は、感染予防対策を徹底した中



提案する上杉書記長

次に、上杉書記長が基調提案を行い、教職員の任命権者は市町村であることから労務管理があいまいになつてきている現状と学校が労働基準監督署の所管外であるための服務等で法律が守られていないことも取り締まる機関

「労働安全衛生推進の重要性を広め、働き方改革を進めることによって、教職員が働きやすい職場を実感し、組合の必要性に気づくこと」を目的とした、労働安全体制の推進プロジェクトのとりくみの報告があった。

その後、単教代表者として出席した21名を3つのグループに分け、グループ毎に各自から単教交渉の経過や成果、課題について報告を受けたのち質疑・討論を行った。地教委がなかなか交渉を設定しない問題や服務監督権者として把握すべき教職員の勤務実態を把握していない実態が報告された一方、衛生管理規程の策定に着手している地教委の報告もあり、今回の県下での単教交渉のとりくみの成果も表れてきている。

討論では、在校等時間の実態に即した記録がなされ

ていい問題が多く論じられた。(文科省が策定した「指針」のQ&Aでは「校長等が虚偽の記録を残させることがあつた場合、信用失墜行為として懲戒処分の対象となりうる」と明示されている。在校等時間の記録を実態に即した正確なものにするよう強く求めている。

今村副委員長の閉会あいさつで閉じた今回の集会は、参加者の多くが発言をし、活発な議論が交わされ、単教交渉のとりくみを継続発展させて必要性を再認識することができた有意義な集会であった。

単教交渉の重要性を再認識 単教ブロック代表者会 50人が出席し盛上がる

で熱心に議論を行つた。会は、竹田副委員長の開会あいさつの後、杉田委員長が、とりくみへのお礼とともに、交渉の経過や成果、課題を還流して次年度にあげる重要性を述べた。

次に、上杉書記長が基調提案を行い、教職員の任命権者は市町村であることから労務管理があいまいになつてきている現状と学校が労働基準監督署の所管外であるための服務等で法律が守られていないことも取り締まる機関



機関紙
発行所
熊本県教職員組合
熊本市中央区九品寺
1-11-4
☎096-372-1500
<http://www.e-ktu.com>
編集発行人・杉田正幸
定価 一部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)



発言する青年部員

人事院「月例給改定なし、一時金〇・一五月分引下げ」を勧告

人事院は8月10日、月例給の改定は行わない一方で、一時金の支給月数を0・15月分引き下げ、年間4・30月とする給与に関する勧告・報告と公務員人事管理に関する報告、国家公務員の育児休業等に関する法律の改正についての意見の申出を行った。

熊教組は、まずは県公労の一員として県人事委員会や熊本県に対し行動を起こしていく。

また、人事院は、政府からの要請に基づき、国家公務員の退職手当見直しを検討するため、民間企業の退職金と企業年金の実態調査を今年中にも行う予

定。調査はおおむね5年ごとに実施することになっている。16年の前回調査では、常勤従業員50人以上の企業約7400社を対象に15年度の退職金支給額や早期退職制度の有無などを調べ、官民比較を実施。この結果を受け、国家公務員退職手当法が改正され、18年から公務員の退職金が平均で78万1000円引き下げられた。前回のやり方に照らすと、今回は20年度の退職者が調査対象となる見通し。

5年に一度の調査とコロナ不況の時期が重なり退職手当の削減が危惧される。

臨任部総会開催



提案する瓜生田部長

ついでいう

なお、総会前には福利厚生学習会として杉田委員長を講師に迎え「人生にとつて大事なお金の話」と題して講演が行われた。

青年部主催
新採おしゃべり会

by 7003

7月22日菊池教育会館にて臨時の任用教職員部の定期総会が開催された。

会の中でも、各参加者の組合運動に対する熱い思いが語られた。瓜生田部長からの提案はすべて承認され、最後に以下のスローガンが採択された。「どんな働き方の人でも安心して働ける職場をつくる」「みんなのきずなを強め、仲間を増やす

きはお茶くみの仕事があつた。先輩に相談したらなくなつた」「研究授業が大変だつた」「今もずっと仕事だけ。夜の10時に帰り着いて翌朝5時には家を出ることもある」「職員室に戻ることもない」といつた意見も出された。

またこういつた機会を作つていくことを確認して今回は終了した。



会の中でも、各参加者の組合運動に対する熱い思いが語られた。瓜生田部長からの提案はすべて承認され、最後に以下のスローガンが採択された。「どんな働き方の人でも安心して働ける職場をつくる」「みんなのきずなを強め、仲間を増やす

合員からは「初任のときはお茶くみの仕事があつた。先輩に相談したらなくなつた」「研究授業が大変だつた」「今もずっと仕事だけ。夜の10時に帰り着いて翌朝5時には家を出ることもある」「職員室に戻ることもない」といつた意見も出された。

またこういつた機会を作つていくことを確認して今回は終了した。

養護部定期大会

集まり、語り、繋がりを

7月17日養護教員部が教育会館で一年ぶりに対面での定期大会を開催した。

田中養護教員部長は挨拶で「コロナ禍で様々な行事や活動、とりくみが思うようにできないが、自分たちの仕事を見つめ直し、何が大事か考える機会になつていて」と述べた。

昨年度の運動の総括の中では、新型コロナウイルス感染症予防対策が多く、養護教諭の負担増になつたこと、地域によってはコロナ禍の中、フツ化物洗口が率先して行われていた等の現状が出された。

本年度の活動計画の中で、女性部と連携して性教育実践講座、栄養教職員部と連携してミニ学習会も予定されている。4つの運動方針、「仲間を増やし仲間の存在が実感できる活動を展開する。4県や市町村の関係機関に働きかける。」他、全ての議案はの確立をすすめる。

3私たちの命と健康を守り民主的な職場づくりにつとめる。

2養護教諭の専門性・主体性

3私たちの命と健康を守り民主的な職場づくりにつとめる。

2養護教諭の専門性・主体性

3私たちの命と健康を守り民主的な職場づくりにつとめる。

2養護教諭の専門性・主体性

議長の宮本代議員(城北支部)と仲嶺代議員(人・球支部)の議事進行により、賛成多数で可決し閉会した。

Iさんは入学時から医療的ケアを必要とする支援員も配置され、学校外での活動も一切保護者の付き添い無しで参加し、級友と楽しく過ごしています。しかしこロナウイルス感染症が広がり学校生徒は一変。何よりも友だちと過ごすことが好きなIさんが、安心して登校できるにはどうすれば良いのか、学校でのとりくみを報告。地域の学校での学びを支えるためのとりくみや諸課題について活発な論議がなされた。



九協障害児教育部
オンラインで学習会

8月18日に九協障害児教育部学習会がオンラインで行われた。分科会の報告者の川口部長と司会の浦本さん(菊池支部)山城さん(熊本市教組)ら4人は県教育会館から、他は支部や自宅から参加した。



県教育会館からZOOMでレポート報告中

第1回 県教研推進委員会
♪県教研に向け始動♪

親と子と教職員の
教育相談室より

熊總研は8月1日(日)に県

教研の第1回推進委員会を開催しました。

出席者は、県教研までの日程や運営に係る確認事項、推進委員の役割について聞



面D Vで子どもは深く傷つく
面前D Vとは、子どもの目の前で配偶者や家族に対して暴力をふるう状況を言います。
児童虐待防止法では、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト(養育の放棄)、心理的虐待の4つがありますが、面前D Vは心理的虐待に当たります。

D Vというと、配偶者間の暴力を指すため、自分を守つてくれるはずの親が安心と安全の基地とはなつていないうことです。子どもは、情緒面・行動面・学習面などで多くの負の影響を受けやすくなります。問題行動、多動、不安症状、ひきこもり、不登校、攻撃的ないじめ、学習困難などが現れます。

教師には、学校での子どもの状態から、面前D Vの影響かもしれないと察知する力量が求められます。

3日(祝日)県教組・市教組、高教組合同主催で開催。全体会講師は日大教授 末富 芳(すえとみ かおり)さん。教育行政学、教育財政学が専門で内閣府子どもの貧困対策の有識者会議メンバー。

午後から教育会館で、分科会開催予定。

これから各支部や専門部からのレポートを募集する。
9月18日(土)第2回推進委員会では分科会の設定を決定するので、それまでに支部から多くの報告をあげてほしい。



状態から、面前D Vの影響かもしれないと察知する力量が求められます。

残業時間改ざんの教頭 に広島県教委が戒告

広島県教育委員会は8月11日、県立高校の教職員1人の残業時間を改ざんした教頭について、減給（10分の1・1カ月）の懲戒処分を行った。校長も指導監督が不十分などとして戒告にした。県教委によると、教頭は5月、残業時間に当たる「時間外在校等時間」を把握するための勤務時間管理システムで、この教職員の4月の残業が82時間33分から79時間19分に少なくなるようにデータを書き換えた。教職員から相談を受けた校長が教頭に確認すると、事実関係を認めめた。校長は県教委にすぐ報告せず、教職

員組合の指摘を端緒に発覚した。教頭は県教委の聴取に対し、自身の業績評価で残業80時間を超える教職員をゼロにする目標を立てていたことや、そうした教職員がいると、校長が県教委から指導を受けるのではないかとう焦りがあつたなどと話しているという。

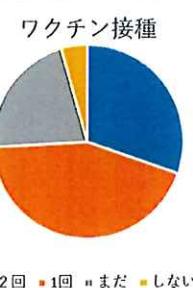
（参考）

教育職員の在校等時間について形式的に上限時間の範囲内とすることが目的化し、授業など教育課程内の学校教育活動であつて真に必要な活動であるものをおろそかにすることや、実際の時間より短い虚偽の時間を記録

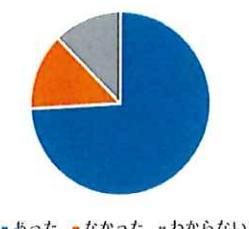
し、又は記録させることがあつてはならない。

「熊本県立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」

新型コロナ予防ワクチン接種1回以上接種74%（ENEアンケートより）



優先接種希望調査



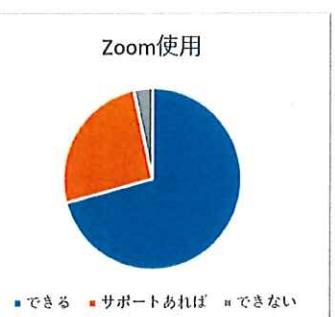
■ あつた ■ なかつた ■ わからない

接種について8月11日
熊教組は新型コロナ
ウイルス予防ワクチン
の結果としては、74%

ワクチン接種については1回ないし2回接種した人が74%。希望はあるがまだ接種できていない人が21%だった。また、接種を希望していない人は4%だった。

木村副知事や各市町村長に対し行った教職員の優先接種要請行動

登録済みの組合員（現在登録者数159名）。有効回答数は89だった。



の人が職場で優先接種の希望調査があつたと回答している。また、関連質問としてZoomを利用した会議に参加できるかという質問に対して71%の人、「自分でできる」と答え、26%の人が「サポートがあればできる」と回答した。調査結果は今後の活動や行事開催の参考にする。



熊教組「公式アカウントにまだ友だち登録されていない方はこちらのコードよりご登録ください」



養護部だより NO.1

2021年8月号 熊本県教組養護部



定期大会・わいわい座談会

7月17日 県教育会館

穴井先生、長い間、本
当にありがとうございました



1 定期大会感想

- 議案書も精選されコンパクトにまとめられていて、わかりやすかったです。準備をありがとうございました。
- 組合の運動方針の大切なことを改めて確認することが出来て良かった。顔の見える組合になり、話しやすい。
- 一年に一回、大切な時間です。私も残り少ない…。新しい仲間を迎えるたいですね。

2 わいわい座談会感想

熱く語り合いました！！

テーマ

- ★新型コロナウイルス対策どうしてます？
- ★フッ化物洗口の悩みは
- ★私たちの働き方改革

時々、自分たちの仕事を見つめなおし、
何が大事か考える機会になっています。



- もっともっと話したいですね。でも、今回は集まれてよかったです。
- いろいろ話せて、心が軽くなった。未組の方の参加もあり明るい雰囲気になりました。
- 和やかな会で、深く学ぶことができた。有意義な会となった。
- 藤本さんの発表はとても参考になりました。ありがとうございます。自分も含め感染者になることはあると思うので、その対応等不安に思っていました。短時間でしたが、とても元気になれる時間でした。
- 情報共有でき良かったし、元気をもらいました。藤本先生には貴重な資料、経験をお話ししていただき、ありがとうございました。ありがとうございました。
- 初めて参加しました。自分がこれまで何気なく仕事をしていることを、深く考えることができ、大変勉強になりました。
- 「今必要な話題」を聞くことができてとても良かったです。
- 座談会では、それぞれの意見や思いが出し合えて良かったです。



社会は変わっていくけど、いつでも本音で話せる大事な仲間です。夏休みに少しはゆっくり休んでください。



組合限定

最新セミナーが「無料」で受講できる

星槎大学のオンラインセミナー



星槎大学のオンラインセミナーとは？

星槎大学と連携する教職員組合に加入している教職員を対象としたオンラインセミナーを開催しています。



セミナーに参加できるのは、星槎大学と連携する教職員組合に加入している教職員だけ。

組合員限定の特典セミナーです。奮って、ご参加ください。



開催案内

■ タイトル

子どもを取り巻く食環境の変化

■ 概要

「食育は、生きる上での基本であって、知育、德育及び体育の基礎となるべきものと位置付ける」このように述べられているのは、平成17年制定された食育基本法の前文です。

ところが、昨今、コロナ禍という事情もあってか「食事に時間をかけて作ろうとする家庭とコンビニ・スーパーの弁当頼みと、食事作りにも2極化が起こっている。」と、横浜市で親子を対象にした「お弁当コンクール」を主宰している北村氏は述べておられます。

他方、農林水産省から発表された「食育白書」からも子どもの食に対する現状と課題が見えてきます。子供たちの背後にはどのようなことが起こっているのでしょうか。一緒に情報を共有し、明日からの先生方の指導に役立てていただければと思います。

最後に星槎で行っている「食育」についても紹介させていただきたいと思います。

■ 日時： 8/21（土）15:00～16:30

■ 場所： Zoom（オンラインのみ）

■ 主催： 星槎大学

■ 受講対象： 星槎大学と連携する教職員組合に加入している教職員

■ 参加費： 無料

■ 定員： 300人（先着順）

■ 講師： 斎藤憲子（星槎大学 教授）

■ 略歴

約40年間、初等育に携わる。その間、横浜市小学校家庭科研究会長、全国小学校家庭科研究会理事、横浜市教育委員会授業改善支援員等として家庭科教育に従事、2016年より現職。

お申込みは、QRコードか下記URLへアクセス

<https://forms.gle/AstFPWY3pj1cyMY9>



-熊本県教職員組合主催-

2021/2022年度末 退職予定者の方を **熊教組**が サポートします。

退職予定者説明会(後援:熊本県小中学校生活協同組合)

- 「退職するのか再任用として働くのか悩んでます」
- 「退職金はいくらぐらい出るのかしら?」
- 「退職後の医療保険はどうなってるの?」
- 「公的年金の制度について知りたい」
- 「退職後の暮らしではどんなことに気を付けるべきなのかな?」

忙しい毎日です。なかなか将来のことについて考える時間がありますね。ぜひご参加ください。(前回はご夫婦での参加もありました)熊教組組合員の方には旅費とお弁当も支給されます。

どなたでもご参加いただけます

開催日時:2021年9月20日 午前10時~12時半

場所:熊本県教育会館5F第1会議室

住所:熊本市中央区九品寺1丁目11-4

会費:無料(未加入者は2000円)

定員:40名(先着順)

持参:最新のねんきん定期便

※申し込みは別紙にて

講師



杉田 正幸
熊教組委員長
(2級ファイナンシャル
プランニング技能士)



2021退職予定者説明会参加申込書

ふりがな				→ 事務局 記入欄
お名前				
勤務校				職種
自宅住所 (未加入者)	〒			
連絡先 (必須)	携帯	-	-	新型コロナの影響など急な中止連絡のために 必ずご記入ください
いずれかに□	<input type="checkbox"/> 2021年度末に定年を迎える <input type="checkbox"/> 2022年度末に定年を迎える <input type="checkbox"/> その他			

FAXでお申し込みください。 FAX 096-372-1527

一緒に参加される方がいる場合は以下にご記入ください。

参加申込書

ふりがな				→ 事務局 記入欄
お名前				
勤務校				職種
自宅住所 (未加入者)	〒			
連絡先 (必須)	携帯	-	-	新型コロナの影響など急な中止連絡のために 必ずご記入ください
いずれかに□	<input type="checkbox"/> 2021年度末に定年を迎える <input type="checkbox"/> 2022年度末に定年を迎える <input type="checkbox"/> その他			